

ペルツズマブ・トラスツズマブ療法

治療スケジュール

	外観	お薬名	薬の効果	スケジュール (点滴時間)	
				1日目	2-21日
1		ペルツズマブ	腫瘍の増殖を抑える	初回60分 2回目以降 30分	お休み
2		トラスツズマブ	腫瘍の増殖を抑える	初回90分 2回目以降 30分	お休み

点滴時の過敏反応

点滴開始直後から2時間後頃に多くあらわれます。
多くの場合、初回の治療中に起こり、2回目からは少なくなる傾向にあります。しかし、2回目以降に初めて副作用があらわれる場合や、それまでとは違う副作用があらわれる場合もあります。

副作用の主な症状

○発熱 ○悪寒（ふるえ） ○発疹 ○かゆみ ○痛み ○頭痛
○吐き気 ○動悸 ○脱力感 ○咳 ○息苦しさ



***これらのような症状があらわれた場合はすぐに看護師に伝えてください。**

治療の副作用について

吐き気 嘔吐

個人差はありますが、点滴開始後1～4時間後より始まり、通常1～7日以内に治まります。オランザピン、デカドロンを使用しています。

<対策>

- ・ 食べられるものを無理せず、食べられるだけ食べてください。
- ・ 水分をなるべく摂ってください。（スポーツドリンク、お茶など）
- ・ 脂っこい食べ物は消化に悪いので、適度に食べてください。
- ・ 気分転換に音楽を聴いたり、自分の好きなことをするのも良いです。
- ・ 吐き気止めの薬があるので、我慢せずに看護師に伝えてください。

骨髄抑制

血液の成分（白血球、赤血球、血小板）が低下することで、骨髄抑制は、治療後8～12日頃に起こりやすいです。

1) 白血球が低下すると感染症を引き起こしやすくなります。

<症状>

- ・ 風邪のような症状（咳、熱など）
- ・ 膀胱炎のような症状（排尿時痛など）

<対策>

- ・ 人ごみを避けてください。（外へ行くときはマスクを付ける）
- ・ 外出から帰ったら、うがい、手洗いをしてください。
- ・ 傷をつくらないようにしましょう。
- ・ 入浴、歯磨きをしっかりと体を清潔に保つようにしましょう。
- ・ 必要に応じて、抗生物質や白血球を増やす薬を使うことがあります。

2) 赤血球が減少すると、貧血症状（動悸、息切れ、だるさ、ふらつき）が起こります。

<対策>

- ・ ゆっくり起き上がるようにしましょう。
- ・ めまい、ふらつきがひどい時は、看護師に伝えてください。

3) 血小板が減少すると、出血しやすくなります。

<対策>

- ・ やわらかい歯ブラシで、やさしく歯磨きしてください。
- ・ 鼻を強くかまないでください。

口内炎

治療後5～14日に起こりやすいです。治療前に虫歯を治し、こまめにうがいをして常に口腔内を清潔に保ちましょう。歯ブラシは柔らかいものを使うと良いです。口内炎ができた時は塗り薬やうがい薬を使うこともできます。

心臓の障害

全身のむくみや、脈の乱れ、息切れの障害などの症状が出たら、速やかに申し出てください。頻度は少ないですが、重篤な場合もあります。
＊もともと心臓や呼吸器に疾患をお持ちの方は主治医にご相談ください。

間質性肺炎

頻度は非常にまれですが、重篤な副作用です。発熱、乾いた咳、息苦しさが見えたら、すぐに医師の診察を受けてください。

主な副作用を記載していますが、気になる症状があれば、担当医、薬剤師、看護師にご相談ください。

名古屋記念病院